

# 朝読書について

今年で11年目を迎えた遺愛の10分間朝読書(8:30-8:40)です。中学1年生から高校3年生まで全校で毎朝行っています。**生徒の評価**(今春卒業した生徒225名)は**78.5%**の皆さんが「**とても良かった・良かった**」と答えていて**高評価**でした。何が良かったかという声を紹介しますと、「本を好きになった」「ふだんはあまり本を読まないけど、この時間で読めた。」「本を読む習慣が身についたから」「本の面白さや大切さ、本から学ぶことが多かったから」「毎日読めるから」「朝読書がなかったら、あまり本を読めていなかったから」「高3になると朝読以外で読みたいくてもなかなか本を読む時間がなかったが確実に読む時間となった」「自分以外の人の考え方などがわかり、これから人と接する中で役に立つと思ったから」「集中力が高まった」「文章の読解力がついた」「漢字が読めるようになった」「知識が増えるし、色んな考え方や感じ方があるんだってわかるからいろんな考え方ができるようになる」「周囲の友人の読む本に影響されて、色々なジャンルを読むようになった。」「教養が増えて、会話が豊かになった」「2年になってから新書を読むようにして受験に役だった」「新書を読むことが評論対策につながった」「速読力がついた」「新書など、ふだんあまり読みたいと思わない本にもチャレンジできた。」「文章の書き方や、言葉の表現や言い表しが上手くなった」「進路の面接対策になった」「朝読に読んでみて!みたいにして友達同士でできて楽しい」「面接・小論に役だった」etc…。

遺愛の朝読書は、「マンガや参考書、絵本以外」の自分の好きな本を読めるものです。しかし**高校2年生の秋くらいから、「戦略的読書」**を勧めています。具体的には新書を読むことです。岩波新書、岩波ジュニア新書、中公新書、講談社現代新書、ブルーバックス等々たくさんあります。何でもいいのですが、自分の将来の進路とかかわるテーマのものを読むといいと勧めています。「医療、看護、



福祉、科学、教育、歴史、言語、心理、政治、法律、経営、環境、国際問題などの評論文」で内容的にはやや難しいものですが、10分間だと集中できます。そして読み方ですが、「**10分間で何ページ読めるか意識して読む**」。そうすると評論文の**読解力と速読力**がついてきます。さらに、それらの力がつくだけでなく自然と自分の進路もみえてくると思います。

2011年4月25日(月)